

アンケート調査の結果まとめ

アンケート調査の結果を集計したところ、以下の状況が明らかになりました。

迷っています 分別・回収

- 廃プラ、発火性危険ごみ、ペットボトルなどの分別で悩むことが多い。
- 金属とプラスチックが一体になっているものなどは、分解ができず困る。
- 一升瓶や古紙など再活用できるものは、回収を推進してほしい。

困っています 違反ごみ・集積所管理

- 廃プラ、古紙、資源ごみは、分別を間違っているケースが多い。
- 通勤途中や旅行者など、地区外の方が出すごみは、分別もされておらず、お盆の頃など、大量に出されるごみのせいで、地元の人のごみがあふれてしまう。
- 集積所を管理するために、掃除当番を決めているが、高齢化により困難になっている上に、回収されずに残った違反ごみの処理も、地区の当番の負担になっている。
- 集積所の設置場所や、集積ボックスの形状は、住民の状況に応じて再検討してほしい。ネコやカラスの被害、ごみが雨で濡れたり臭いが出るのを防止できる集積所を希望。

アイデア ごみ減量→リサイクル こんな工夫をしています！

- 過剰包装や使い捨て容器を避け、生ごみはコンポストなどで堆肥にして活用、古着は切って掃除などに再利用するか、欲しい方に譲る、ペットボトルはなるべく買わないなど、ごみ減量のため、さまざまな工夫をしている。
- 長く着られるものを選ぶ、必要なものだけ買う、食べられる分だけを買う、家族が同じ気持ちでごみ減量に取り組むことが大切。
- 古い洋服を仕立てなおしたり、小物に作り替える工夫をしているが、新庁舎にリサイクル(店)のコーナーを設けるなど、市としても、リサイクルを推進してほしい。リサイクルの講習会にも、ぜひ参加したい。

佐渡市に提案

- ガイドブックやごみカレンダー、分別アプリを参考に分別している。
- ごみ袋(とくに発火性危険ごみの袋)は、サイズなどの改善をお願いしたい。
- ごみ処理のコスト、ごみ袋の販売額や使用量、リサイクルによる市の収入(支出)の金額、金額、ペットボトルのリサイクル率、リサイクルの費用、ごみの減量により焼却コストやCO2を削減できるのか、収集されたプラスチックごみの処理方法などを、広報してほしい。